

一般質問通告書

受領日時 令和8年2月17日 午前・午後9時30分 9番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 町長就任後の初予算、肝入り施策について	<p>○町長就任後、初めて編成された令和8年度当初予算が今定例会に上程される。</p> <p>一般に、当初予算は議案として上程される際、その背景にある町長の考えや「肝入り施策」について、詳細に語られる機会は多くない。</p> <p>しかしながら、町長が交代し、新体制のもとで初めて示される当初予算は、今後の町政運営の方向性や優先順位を町民に示す重要なメッセージであると考えます。</p> <p>そこで、議案説明とは別に、町長自身の言葉で、今回の当初予算に込めた思い、特に重点を置いた施策について、率直に伺いたい。</p> <p>(1) 町長就任後、初めて編成した令和8年度当初予算について、町長として特に重点施策として位置づけている分野は何か。</p> <p>(2) その重点施策を選定するにあたり、どのような町の課題や将来像を念頭に置いたのか。</p> <p>(3) 今回の当初予算を通じて、町民にどのような町政の方向性を示したいと考えているのか。</p>
2 町有林の適切な管理と森林資源を活用した財源確保について	<p>○本町が保有する町有林については、森林の公益的機能の維持・向上に加え、適切な伐採や間伐を行うことで、木材資源としての活用や財源確保の可能性があると考える。</p> <p>近年、森林整備の遅れや木材価格の動向、国・県の森林環境譲与税等の制度も踏まえ、町有林の現状把握と今後の活用方針を明確にする必要がある。</p> <p>そこで、町有林の現況および伐採・間伐による基金積み増しや財源活用の可能性について、以下質問する。</p> <p>(1) 本町が保有する町有林の総面積はどのくらいあるのか。また、地区別・林種別（人工林・天然林等）の内訳はどうなっているのか。</p>

	<p>(2) 町有林のうち、 ①間伐が必要とされている森林の面積 ②すでに伐期を迎えている、または今後数年以内に伐期を迎える森林の状況について、町としてどのように把握しているのか。</p> <p>(3) これまで町有林において実施してきた伐採・間伐の実績と、それによって得られた収益額およびその用途について伺う。</p> <p>(4) 今後、町有林の計画的な伐採・間伐を進めることにより、森林整備の推進とあわせて、基金の積み増しや町の自主財源として活用していく考えはあるのか。 また、森林環境譲与税や国・県補助制度を含めた中長期的な管理方針について町の見解を伺う。</p>
<p>3 道路除雪における間口対応の改善について</p>	<p>○近年の降雪状況において、道路除雪作業後に住宅や事業所の間口部分に大量の雪が残され、特に高齢者世帯や単身世帯において、生活動線の確保が困難となる事例が多く見受けられる。道路除雪の性質上、間口に雪が寄せられることは一定程度やむを得ない面があることは理解しているが、住民生活への影響を最小限に抑える観点から、町民の安全確保と冬期間の生活環境改善のため、町の見解を伺う。</p> <p>(1) 現在の除雪業務委託契約では、間口部分に雪が置かれることを前提とした内容となっているが、住民の安全確保や生活支障の軽減の観点から、契約内容や仕様の見直し、あわせて除雪作業時におけるバック作業や投雪方向の調整など、可能な範囲で間口に雪を置かない作業方法の工夫を検討する考えはないか。</p> <p>(2) 自力での除雪が困難な高齢者世帯を対象として、現在、1回200円で利用できる除雪支援制度が設けられていることは承知している。 しかし、降雪の状況によっては、大きく固く締まった雪が間口部分に残される場合もあり、高齢者世帯に限らず、女性だけの世帯や、年齢に関わらずけがや病気等により一時的に除雪が困難な世帯にとっても、現行制度の対象外となることで生活に支障が生じるケースがあると考えます。 このような実情を踏まえ、間口除雪を対象とした支援について現行の1回200円制度の対象世帯の拡大や柔軟な運用、あわせて降雪直後の応急的措置と後日処理を組み合わせた段階的な対応を検討する考えはないか、町の見解を伺う。</p>

<p>4 小中学生の不登校の実態と子どもの虐待の把握・対応について</p>	<p>○近年、全国的に小中学生の不登校は増加傾向にあり、その背景には、学校生活上の課題のみならず、家庭環境や養育状況など、複合的な要因が関係していると考えられる。また、子ども虐待は子どもの心身の成長に深刻な影響を及ぼす重大な問題であり、早期発見・早期対応が不可欠である。</p> <p>本町においても、不登校と虐待が個別の問題としてではなく、相互に関連し得る課題として現状を正確に把握し、関係機関が連携した切れ目のない支援体制を構築することが重要であると考えことから、以下について町の考えを伺う。</p> <p>(1) 本町における小中学生の不登校児童生徒数および子ども虐待（身体的、心理的、ネグレクト、面前DV等）の相談・通告件数について、直近数年間の推移と現状はどうなっているか。</p> <p>(2) 不登校や虐待の背景要因について、家庭環境や養育上の課題を含め、町および教育委員会はどのように分析・把握しているか。</p> <p>また、関係機関（学校、保育所、医療機関、児童相談所等）との連携体制はどのように構築されているか。</p> <p>(3) 不登校および虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図るため、現在の支援体制の課題をどのように認識しており、今後町としてどのような取り組みを強化していく考えか。</p>
---	---